

種類別明細書(増加資産・全資産用)記載方法

- ※ 前年度申告した方は、前年中に増加した資産を記入してください。
- ※ 今回初めて申告される方は、全資産を記入してください。
- ※ 法人税・所得税申告書に記載されている減価償却資産との整合性を保つようご注意ください。
 法人…法人税申告書の別表16(1)、16(2)、16(7)から記入します。
 個人…所得税申告書収支内訳書の減価償却費の計算から記入します。

< 摘要 >

- 当該資産にかかる特記事項としてア～カのような事項を記載してください。
- ア 他の市町村からの移動等により受け入れた資産については、移動の年月
 - イ 耐用年数の短縮を適用している資産については、その旨の表示
(例：短)
 - ウ 中古資産の見積耐用年数を適用している資産については、その旨の表示
(例：中)
 - エ 増加償却を行っている資産については、その旨の表示
(例：増)
 - オ 課税標準の特例の適用がある資産については、その旨の表示と適用条項
(例：特349の3①)
 - カ その他、当該資産の価格の決定にあたって必要な事項

平成00年度

* 所有者コード *		種類別明細書(増加資産・全資産用)						所有者名		1枚のうち			
ア 7000102		イ ウ エ オ						株式会社 太郎商会		カ 1枚目			
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年 月	取得価額 (イ) 十億 百万 千 円	耐用年数	減価償却率 (ロ)	価額 (ハ) 十億 百万 千 円	課税標準の特例 率 コード	課税標準額 十億 百万 千 円	増加事由	摘要
01	1		電気設備		14 22 6	800,000	15	0.				① 2 3・4	
02	2		手指消毒器		14 15 10	260,000	9	0.				① 2 3・4	H21.4 首里店
03	6		看板		14 22 12	300,000	5	0.				① 2 3・4	
04								0.				1・2 3・4	
05			電算申告される					0.				1・2 3・4	
06			方以外は記入					0.				1・2 3・4	
07			しないでください。					0.				1・2 3・4	
13								0.				3・4	
14								0.				1・2 3・4	
15								0.				1・2 3・4	
16								0.				1・2 3・4	
17								0.				1・2 3・4	
18								0.				1・2 3・4	
19								0.				1・2 3・4	
20								0.				1・2 3・4	
小計						1,360,000							

第二十六号様式別表(提出用)

9ページ償却資産申告書
取得価額の(ハ)欄へ、資産の種類ごとに集計し、転記

注意 「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。

ア 資産の種類

資産の種類番号を記入してください

- 構築物・建物附属設備… 1
- 機械・装置…………… 2
- 船舶…………… 3
- 航空機…………… 4
- 車両・運搬具…………… 5
- 工具・器具・備品…………… 6

イ 資産の名称等

資産の名称を記入してください。

ウ 取得年月

年号(3.昭和4.平成)は資産を実際に取得した年月を記入してください。また改良費については、本体部の取得時期とは別に次の欄に「改良費」としてその改良を加えた年月を記入してください。

エ 取得価額

資産を取得するために要した金額(附帯費等を含む)を記入してください。なお改良費の支出分については、本体部とは別に支出した年度ごとに、また圧縮記帳をしたものについては、圧縮前の実際の取得価額を記入してください。

オ 耐用年数

「減価償却資産の耐用年数に関する省令」に掲げる耐用年数を記入してください。

カ 増加事由

該当する理由を○で囲んでください。

- 新品取得…………… 1
- 中古取得…………… 2
- 移動取得…………… 3
- その他…………… 4